



電子処方箋システムを利用することで、 薬局からの伝達事項を医療機関で今後の診療に活用できます！

POINT：医療機関は、電子処方箋の調剤結果やコメント機能を確認することで、 薬局の服薬指導内容等を診療に活用可能！

薬局では、調剤した処方箋に対する調剤結果情報を電子処方箋管理サービスに登録しています。医療機関は、登録された調剤結果情報から、調剤を行った薬剤師名や処方を行った医師名が確認できるため、問い合わせが必要な場合もスムーズに行うことができます。また、医療機関は、薬局からコメント機能を通して共有された情報も、次回以降の診療に活用することができます！

【参考】国家公務員共済組合連合会 吉島病院（広島県）

薬局からのコメントを診療に活用している事例

事例1

吉島病院では、患者が電子処方箋未対応の医療機関等で処方・調剤された併用薬を確認する目的で、吉島病院で発行した処方箋を受ける可能性がある薬局に対し、薬剤師からも「吉島病院に行く際は、医師に併用薬を伝えること」「吉島病院では併用薬を考慮した処方をしており、併用薬に注意していただくこと」を患者に伝えるよう依頼している。そして、当該薬局から電子処方箋のコメント機能で、医師の依頼を踏まえた服薬指導を行った旨とその内容を共有頂いたため、**病院-薬局の連携が取れた患者対応**ができた。

事例2

薬局が、疑義照会を行った結果を**コメント機能（※）で記録したものを、次回の処方時に確認**することができた。（事例3の薬局からの伝達事項確認画面）

（※）疑義照会結果の入力については、薬局で「疑義照会結果レコード」に登録することで、医療機関に共有できます。

事例3

前回から処方内容に変更がなかった患者について、経過が問題ないかを薬局でヒアリングし、**聞き取った内容をコメント機能で共有いただいたため、次回以降の診察に活かす**ことができた。
（具体的事例）アルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制目的でドネペジル錠3mg開始。1週経過後に来局。忍容性の経過追跡にて、同量で継続。その後、問題ないことが確認され、維持量5mgで投与となる。日常生活を維持しながら、治療が継続されている。

調剤年月日	
薬局	
薬剤師	
医師	
処方内容	Rp.1 ドネペジル塩酸塩OD錠3mg「サワイ」 1錠 ◆一般名称：【般】ドネペジル塩酸塩口腔内崩壊錠3mg 1日1回 朝食後 56日分
服用注意	
伝達事項	重要：【般】ドネペジル塩酸塩口腔内崩壊錠3mg 投与開始から1W経過しており、また、3mgでのさらなる56日分追加指示となっているが、問題ない旨確認済。
備考	正しい飲み方は薬袋等をご覧ください。
疑義照会結果	

今後の要望



電子カルテシステム上で、**伝達事項が記載された患者一覧を表示させる機能や重要度等を示す機能**があれば、運用の手間が更に削減できると考えています。

調剤結果閲覧やコメント機能を診療等に活用することで、より安心安全な医療を提供できます。